

## 『まるごと』（初級2 A2）<りかい> 教え方のポイント

### 1. 授業の構成の目安（120-180分）

<b>●トピックの扉ページ／勉強する前に（5分程度）</b>
・トピック扉の写真や、「勉強する前に」の質問（母語や媒介語）を通して、学習者の経験や 既有知識を活性化させ、これからこの課で学習する内容につなげる。
<b>●文字とことば（30分程度）</b>
・課によっては、<かつどう>の同じ課で導入した語彙に新たなものが加わっている場合もある。 ・練習方法は、イラストを見て文字を選ぶタイプ、対やグループになるものを整理するタイプ、 コロケーション（いっしょに使われることが多い語の組み合わせ）、文脈による適語選択など がある。 ・書きとりは3問。初級2はマス目がないので、小さい「つ」「や/ゆ/よ」は各自注意して書く。 ・漢字は基本的に語を単位として導入する。導入後、「会話と文法」でも漢字表記とするが、品詞 の活用を伴う練習問題のキューは、かな書き。
<b>●会話と文法②、③、④（50～80分程度）</b>
・モデル会話（導入会話）で場面と文脈を理解した上で、コミュニケーションのために使われて いる言語構造の学習へと誘導する。 ・手順 1) イラストを利用して場面を説明し、会話を見ながら音声を聞いて意味・機能・形を理解する。 2) 言語構造や活用を確認する。 <かつどう>より活用例としてあげる語の数が多いが、これ以上増やす必要はない。 3) 確認した言語構造の意味や文法規則を使って、練習する。 意味理解の練習問題、形の練習問題、談話構造の練習問題がある。 4) ペアで会話を見ながら言う練習。学習者が身近な情報にことばを入れ替えてもよい。 目的は学習した言語構造が場面と文脈の中で使われていることを再確認することなので、 授業全体から見れば、あまり力点を置かずともよい。 ・留意点 ※<りかい>は日本語の言語構造をより広い視点で学習するなどの目的から、<かつどう>と文 型の示し方が若干異なる課がある。<かつどう>と<りかい>を同時並行的に使って学習する 場合は、教師が学習項目を確認しておくことが必要。 ※縮約形（「Vてます」など）は文字テキストには使用していない。（録音音声では使用。） ※音声アイコンには、「音声」と「聞いてチェックしましょう」がある。音声を使った活動は 以下の3種類。 ①「音声」（聴解練習） ：会話を聞き、意味を理解して答える。（p24 006-009 など） ②「聞いてチェックしましょう」（文法・文型練習） ：練習問題の答えを記入後、音声を聞いて、答えを確認する。（p22 002 など）

③「音声」→「聞いてチェックしましょう」

- ：言語構造が使われている会話を聞いて、問題に答える（聴解）。(p25 010-013 など)
- 上の会話をもとに文を再構成する練習問題をし、その答えのチェックに音声聞く。  
(p25 014 など)

●ことばと文化（5～10分程度）

- ・トピックに関連して文化的な背景を持つことば・表現をとりあげる。
- ・ある場面において、どんな表現を適切と考え実際に使っているかを考える。自分たちの文化との比較や自分のコミュニケーションスタイルに対する気づきを促すのが目的なので、正解はない。
- ・日本語で意見交換をするのはまだ難しいと思われるが、あまり媒介語を使用しないでできる範囲でとどめる。

●どっかい／さくぶん（25～50分程度）

- ・「どっかい」と「さくぶん」は、会話場面を通して学んだ言語構造を、別の技能（読解、作文）を使って、定着させるのが目的である。

「どっかい」

- ・トピックに関係がある内容のテキストを、ブログ、メール、アンケート等の形式で読み、コミュニケーションタスクや内容理解のチェックを行う。
- ・「どっかい」の音声は、以下のような使い方ができる。
  - ①漢字の読み方を確認する
  - ②学習者の読むスピードが遅い場合に、音声を聞きながら目で文字を追わせることで、はやく読めるようにする
  - ③授業時間が足りない場合に、一斉に聞きながら読んで時間を調節する

「さくぶん」

- ・重要表現や言語構造はなぞりがきにした。下線部は、学習者が自分のことを書く。
- ・書くことによる理解・定着を促進するために、独力で全文を書くことも数回は行う。  
(p167 ワークシートあり)
- ・学習者が書いた作文は、中間と期末の「ふりかえり」の時に使う。また、ポートフォリオに入れる。書かせっぱなし、教師だけが読み、修正するということがないように注意すること。
- ・偶数課のさくぶんはサイトからダウンロードできる。<http://marugoto.org/>
- ・授業で時間がとれない場合は宿題にする。

●にほんごチェック（5分程度）

- ・巻末のチェックリストを使う。各課の「勉強する前に」の問いかけを再度読んで、学習項目になっていた言語構造を思い出し、学習の成果を3段階で自己評価する。コメント（感想）も母語で記入する。

●音声ファイル、作文シートなど関連教材のダウンロード

→ <http://marugoto.org/>

●各課のポイント

**トピック1 新しい友だち**

扉の写真は、国際交流パーティーのイメージ写真。服装や身につけているものがさまざまであること、このような場面でどんなことを話すか考えてみる。

**第1課 いい名前ですね**

①もじとことば

1 仲間外れの語を選ぶ。(①自己紹介のとき言わないこと、②兄弟でないもの、③読書と関係がないもの、④自然の景色の中にあるもの)

②かいわとぶんぼう

1 国際交流パーティーなどで初対面の人に自己紹介をする場面。

2 \_\_\_\_\_といういみ 3 N1というN2

自己紹介の時に人名や地名など相手にとってなじみのないことばをわかりやすく表現する。

③かいわとぶんぼう

1 ②-1の続きの自己紹介場面で、休日の過ごし方について話す。

2 名詞修飾 V/I A/ナA/N (ふつうけい) +N

③の質問4の欄には、名詞修飾の形を使って、ペアの相手に聞きたい質問を書く。名詞修飾は初級1で学習したが、ここで再確認する。普通形の確認には巻末の文法表も利用できる。

④どっかい

子どもの名前には親の思いが込められている。まりさん夫妻の希望が両立する名前を選ぶ。名前の漢字表記は一例として示した。

**第2課 めがねをかけている人です**

②かいわとぶんぼう

1 交流パーティーには友人の家族や、友人の友人など、いろいろな人が集まる。だれが来ているのか、だれと関係があるのか、友人同士で話している場面である。

練習問題は既習項目が中心だが、分量が多いので時間配分に注意。

2 N1(ひと)はN2がI A/ナAです N2がI A-い/ナA-な+N1(ひと)

①では会話で名詞修飾節を聞き、②では聞いたことを別の文型で再構成する。

「～は～が」を意識するよりも、コロケーション(髪が長い、目が大きい、など)を学ぶつもりで。

3 V-ています V-ている+N(ひと)

1 グループ動詞の活用ルールを表にまとめた。「V-ている」は動詞の性質によって動作の進行を表したり、状態を表したりするが、いずれも話者が見ている目の状況である（→初級1第3課）。

### ③かいわとぶんぼう

① ②-①と同じ場面。自分の家族や友人について、ほかの人の印象を聞き、また自分自身のコメントも言う。

② イ A/ナ A-そうです イ A/ナ A-そうな+N (ひと)

①は、文脈をよく見て「～そう」になるかどうか考える。様態の「～そう」は知らない人物の外見や様子を見て推測するときを使う。どんな人がよく知っている場合や自分自身の感情を言うときは推測ではないので、この「～そう」は使わない。

③ イ A-く/ナ A-に/イ A/ナ A-そうに V

形容詞の副詞的用法を使って、文の述部を修飾する。2の項目「～そう」もナ形容詞と同じように活用する。

### <ことばと文化>

一般的な日本人の反応として、他の人から家族をほめられて、(b)「そんなこと、ありません」と否定することが多いかもしれない。最近は、家族でも、よさを認める、評価することは大切だと感じている日本人もいる。学習者が自分のことを考える場合、母語での言動を思い出して、どうするか、それはなぜか考える。

### トピック2 店で食べる

扉の写真は和食と洋食の飲食店。<かつどう>では和食の店を、<りかい>では洋食の店を場面として取り上げる。外国からの友人を地元のおすすめのレストランや料理屋に案内し、いっしょに食事をするという状況。そこではどんなことを話すか、写真を見ながら考えてみる。

#### 第3課 おすすめは何ですか

##### ①もじとことば

① 対象物を外来語と和語で表す。イラスト（牛、ぶた、鶏）は肉の種類を特定するためにあるので注意。「牛肉」、「ビーフ」の意味はイラスト上の動物(牛)ではなく、その下のスライスされた肉片である。

② 洋食の名前は外来語が多い。写真を活用してほしい。

##### ②かいわとぶんぼう

① レストランに入り、テーブルについてから、メニューを見ながら注文する料理を決め

る場面。地元をよく知っている人は、いっしょに来た友人におすすめの料理などを教える。

② S1 (ふつうけい) ので、S2

前件 S1 は後件 S2 の原因や理由を表す。S1 は普通形を文末に使うが、名詞とナ形容詞は活用に注意 (N/ナAだ-なので)。

③ V/イA/ナA のは、N です

「～は～です」文の応用。②のようなやりとりの中で使い方に気づくようにしたい。

### ③かいわとぶんぼう

① ②と同じ場面。食べたいもの、食後に飲みたいもの、量が多い料理をどう注文するかなど、自分の希望を伝える表現が複数ある点に注意。

② N1 なら、N2 がいいです (よ)

「N なら」は相手の発言 (N の部分) を受けて、助言をするときに使う。A と B のやりとりの中で使い方に気づかせたい。

③ N (かず) ずつ

「ひとつずつ」「ふたつずつ」など、発音しづらいが、はじめはゆっくり丁寧に練習すればよい。

### ④どっかい ⑤さくぶん

料理名「テリヤキチキン」「テリヤキビーフ」の表記は全カナ書きにした。実際には「てりやきチキン」「てりやきビーフ」など、ひらがなの混ぜ書きも見られる。

### <ことばと文化>

「おねえさん! / おにいさん!」という呼びかけ方は、居酒屋や庶民的な食堂などで使うが、高級なレストランではしない。

## 第4課 どうやって食べますか

### ①もじとことば

② ①～④は「～に～をV」の構文になっている。

### ②かいわとぶんぼう

① レストランのテーブルで全員の飲み物がそろそろまで待っている場面。野田さんはいちばん年上で、場をしきっている。「もう飲んでもいいですか。」「まだですよ。」は、初級1 (L8) で既習。(もうびじゅつかんに行きましたか。 / いいえ、まだです。)

② V-ては/V-ちゃ いけません/だめです

話し言葉として「V-ちゃだめです」「V-ちゃいけません」を、書き言葉として「V-てはいけ

ません」を練習する。①はマナーを教えるのださんの説明、②は各国の友人と食事のマナーを話題とした会話を通して、話し言葉を扱う。③は②で聞いたことを、くのさんが手にしている「世界のマナー」という本の記事として読んでいるという設定である。実際のコミュニケーションで他人に対して「V-てはいけません」と文字通りに発言することはほとんどないと思われるので、この表現を使用する文脈をマナーの本に持っていった。このような言語形式もさることながら、外国の食事のマナーについて知り、自国と比較し、他国ではなぜそうなのかを考えてみてほしい。

③ V1-てから、V2

順番の大切さを強調したいときに使う。

③かいわとぶんぼう

① 再び、ルパさんとあべさんのテーブル（第3課で登場）。注文した食べ物（とうふステーキ）の食べ方について話す。

② V1-て/V1-ないで V2

クイズ仕立てなので、必ずはじめに自分の答えを書いてから音声チェックをすること。

卵かけごはんのイラストは、箸（はし）をごはんに突き立てているのではなく、といた卵をつたわせている様子である。ちなみに日本では箸をごはんにつきさすのはマナー違反で、やってはいけない。

③ V-ると、\_\_\_\_\_

一般的事実を表す文型。みんなで食べると楽しいというのは世界中で共有できるメッセージだろう。

トピック3 沖縄旅行

まず扉の美しい沖縄の写真で動機づけをはかる。第5課と第6課はサイト画面、パンフレット、アンケートなどで本物らしさを出すために未習語彙や漢字が使われているが、その部分を学習項目として取り出す必要はない。「<sup>おきなわ</sup>沖縄」は漢字ふりがな付。

第5課 ぼうしを持っていったほうがいいですよ

②かいわとぶんぼう

① 沖縄への家族旅行を計画しているホセさんと、相談にのるかわいさんとの会話。ここでは旅行に行くシーズンとそのときの持ち物について話す。

② V-た/V-ないほうが いいです (よ)

「V-たほうが いい/V-ないほうが いい」は、そうしないと聞き手に不利益が生じる場合に使うので注意。軽いアドバイスの場合は、「V-ると いいですよ」。終助詞「よ」をつけることで、話し方が押しつけがましくなく、やさしい印象になる。「できれば」はおすすめの程度によって使用する。①の練習は「沖縄に行ってみたいんですが」という問いかけに対する

るアドバイスがならんでいる。写真はライブハウス。②の練習はガイドブックなどに載っている旅行用カレンダーを見るつもりでやってみてほしい。

### ③かいわとぶんぼう

① ②①に引き続き、沖縄旅行について。今度は交通手段について話す。

② S1 (V1-る/V1-ている/V1-た)とき、 S2 (V2-ました)

S1(～とき)は、主節 S2 の内容がいつのことなのかを示す。文全体の時制は主節 S2 の動詞 V2 が表す。ここで練習する文は過去に行った沖縄旅行の経験についてなので、すべて過去形「V2-ました」になっている。①②の練習はともに状況を想像し S2 がいつ起こっているかよく考えて、動詞 V1 のアスペクト (V1-る/-ている/-た) を選ぶこと。行く、帰るは「行っている」「帰っている」とはせず、A 点から B 点までの移動を全体として捉え「A から B に行くとき/帰るとき」とする。

58 ページ①の写真は沖縄のモノレール。「ほっ」はこわいことや心配なことが終わって安心したときに言う。②の練習は、沖縄旅行に行ったよしださんの経験。

③ 今までに出てきた「が」「は」「も」のまとめ。前置きの「が」、逆接の「が」、「A は～ B は～」(対比)、「A も B も～」など。

### ④どっかい

旅行情報を提供するサイトの質問コーナーを読むつもりで読んでみる。

## 第6課 イルカのショーが見られます

### ①もじとことば

① 3つのヒントからことばを連想して答えるゲーム。

② 旅行ということばから連想される語彙の関係図。

①や②は語彙学習の方法としても、学習者に意識してほしい。

### ②かいわとぶんぼう

① ジョイさんが旅行先での日帰りツアーについてホテルのフロントで聞く場面。

② 可能① NがV-(られ)ます

巻末 p172-p173 の表を見て可能形を確認する。エ段を使うことに気づくようにする。ローマ字表記で指導するとルールがわかりやすいかもしれない。会話では「ラ抜き」が多く(特に辞書形3音節までの動詞)、「見れる」「食べれる」が一般的に使われている。『まるごと』りかい編では、従来の規範にしたがって「見られる」「食べられる」と表記しているが、「見れる」「食べれる」はコミュニケーション上必要な情報なので、説明したほうがいいだろう。

①の練習は、①に引き続きホテルの人がツアーを紹介している場面。②の情報と合わせて、沖縄旅行の気分を楽しんでほしい。

### ③かいわとぶんぼう

① ②①の続きで、日帰りツアーから帰ってきて、ホテルの人にコメントを言う場面。

② S (ふつうけい) し、\_\_\_\_\_

文末のテンスの影響範囲に注意。動詞は影響を受けて「Vたし、Vたし、Vました」、形容詞は影響がないので「Adj-い/-だし、Adj-い/-だし、～ました」。①では、第5課でかわいさんにアドバイスをもらったホセさんが、旅行から帰ってきて感想を話している。写真は沖縄料理。②は、6つの質問への答えを選択しを見ないで学習者が自分で考えるのも練習になる。写真はサターアングギーという沖縄のお菓子。

### ④どっかい

日帰りツアーのパンフレットに書いてある、参加した客の感想を読むという設定。写真を見て沖縄の自然（日本の多様性）を楽しむ。

## トピック4 日本祭

扉の写真は海外で行われる日本祭の様子。右下はジャカルタ（インドネシア）、ほかの3枚はサンパウロ（ブラジル）である。写真を見ながら、学習者の国の日本祭（あるかどうか、いつどこであるか、行ったことがあるかなど）について話す。このようなイベントでは在住日本人と現地の人が協力して働くことが多い。このトピックでは、そのようなボランティアとして働くときの日本語使用場面をとりあげる。

## 第7課 雨がふったらどうしますか

### ②かいわとぶんぼう

① サンパウロに住むのりかさんは日本祭りの実行委員で、ボランティアスタッフを探している。「しています」の「い」は、会話では脱落することが多いので、パウロの発話「はい、していますよ。」の音声は「はい、してますよ。」としている。このほか、「い」の脱落は「日本まつりってして（い）ますか。」、「しかいができる人をさがして（い）ます」にも適用できる。

② 可能② NがV-(られ)ます NがV-(られ)る+ひと

①動詞の可能形の活用はL6に続き2回目。1グループは「ます」の前の音（イ段）を「エ段+ます（うたいます→うたえます）」に、2グループは「ます→られます」に変える。

②ではボランティアスタッフとしてどんな仕事ができるか会話内容を聞き取り、③でその内容を表す文を完成させる。そして④ではクラス内での発話練習を行う。ボランティアスタッフをさがすという文脈の中でこれらの活動はつながっていることを意識して学習する。

### ③かいわとぶんぼう

① 日本まつりの前日にスタッフの打ち合わせをおこなっている場面。集合時間や場所だけでなく、雨の場合など、いろいろな事態にどう対応するか話す。

② 条件① S1 たら、S2

②仕事の経験の有無や働き方の意識によっては、問題文の内容が実感できない場合があるかもしれない。例えば、忘れ物は受付にまとめておくこと、昼食は事務室など客のいないところで食べることなど、なぜか、どう思うか話してもよい。

## 第8課 コンサートはもうはじまりましたか

### ①もじとことば

⑤ 本書では、普通名詞は「祭り」とし、個別の祭りの名前（「日本祭」、「祇園祭」 p.120 など）には送りがなをつけない。実際には、普通名詞の「祭」や「祇園祭り」の表記も両方見られる。

### ②かいわとぶんぼう

① 日本祭の当日、のりかさんはボランティアに準備の状況を確認する。

② もうVました、まだV-て いません

「もう」と「まだ」はそれぞれ完了と未完了を表す。②3番の「カラオケコンテストの参加者」とは観客ではなく、コンテストに出場する人のこと。

③ まだVます/V1-ています、もうV1ません/V2ました

②との違いは、談話が「もう ~か」か、「まだ ~か」のどちらの質問で始まっているかということ。②と同様、「まだ」は未完了、「もう」は完了を表す。V1は「~ている」の継続の形か、状態性の動詞「ある」、「できる」が使われる。(まだあります、もうありません、まだできます、もうできません)

### ③かいわとぶんぼう

① 日本祭の当日、受付での会話。イベントの時間や場所など、客からの質問に受付のスタッフが答える。「知っていますか」は、音声では「知ってますか」と発音している。

② S [いつ/どこ/… (ふつうけい) か]、していますか/わかりますか

①日本祭に来た客 2 人がイベント情報について話している文がならぶ。「知っている」「わかる」は基本的な意味(知っている=知識や情報の有無、わかる=内容の理解)を教える。ここでは、「知っていますか」は情報をすでに持っているか、「わかりますか」はプログラムなどの情報源を使って調べられるか、という使い分けをしている。83 ページはハノイ(ベトナム)の日本祭のコンサート風景

## トピック5 特別な日

扉の写真は正月飾りとお節料理、お屠蘇セットなど。おめでたいものがたくさん並んでいる。正月のあらたまった雰囲気を感じてほしい。トピック5は正月の過ごし方や年中行事などの日本の生活文化情報が提示されている。年中行事の形式だけでなく、その背景にある人々の願いや思いについても考えてみてほしい。

### 第9課 お正月はどうしていましたか

#### ②かいわとぶんぼう

① 年末年始の休み（正月休み）をどう過ごしたか、アニスさん（インドネシア人）とホセさん（メキシコ人）が話している。二人とも日本に住んでいるが、休みの過ごし方はそれぞれ違う。

② V-ていました

②と③は、①と同様、外国に住んでいる人たちがその国の特別な休暇をどうすごしたかという内容になっている。出来事を事実として単純に言い切る「Vました」に対して、「V-ていました」は休みの間、動作が継続していた様子を表す。「ずっと」「毎日」などの語をいっしょに使うとその意味がわかりやすくなる。

③ 可能③ V-(られ)て/V-(られ)なくて、\_\_\_\_\_

可能形のて形を使って、理由を表現する。文末には「よかったです」、「残念でした」など、話者の心情を表す語を使う。それが理解できるように、学習者自身の経験を思い出しながら練習すると良い。

#### ③かいわとぶんぼう

① ②と同様、正月休み明けの会話。ここでは休暇の日数が話題になる。日本では通常、12月29日から1月3日までが正月休みである。

② Nしか（Vません）、Nだけ

文全体から意味を考えて答えること。「しか」なら文末が否定形「Vません」になるというような形式だけで答えるのでは何の意味もない。1番は元気で休んだことがない人の話。

#### ④どっかい ⑤さくぶん

メールやカードでのあいさつ。「どっかい」のメールは年が明けてから書いているが、「さくぶん」のカードは文面（今年はどうな年でしたか）から年が明ける前に書いて送っていることを理解する。文中の「昨年」、「今年」、「来年」がいつをさしているかよく考えて読むこと。日本の年賀状は正月前に相手に届くようにはしないことも文化情報として知ってほしい。一方、季節のあいさつは日本の習慣ではなく、文面からしても、年内に届くようにしたほうがよい。

読解文の中に、「家（いえ）」と「うち」が出ている。「家（いえ）」は「むための建物」、「うち」には自分の家庭や家族というニュアンスがある。かわのさんは社会人としてすでに親から離れ、独立しているので、親の家（住居）と自分の家（住居）の区別をつけている。

また、帰省してからは家族の一員として「うちの仕事」をしているのである。

## 第10課 いいことがありますように

### ①もじとことば

③ 「ねがいます」「いのります」

この課では、基本的に人間の気持ち／精神的活動を広くとらえて「願う」とし、特に神仏に対しての働きかけを「祈る」として区別した。七夕は「短冊に書いて願い事をする」ので「星に願う」、一方、神社仏閣では「神仏に祈る」としている。

### ②かいわとぶんぼう

① 日本で毎年行われる行事について外国人が日本人に聞いている場面。ここではサビタさんがくの人に、成人式とはどんなものなのかをたずねる交流会話になっている。

② S1 (ふつうけい) ように、S2

目的 (S1) とその手段 (S2) を表す「～ように」を取り上げる。②は成人式のイベントを企画・運営する立場で読むとわかりやすい。

③では将来の計画とそのための取り組みを若い人たちに聞く。④4番の「毎週パーティーに参加しています」とは、結婚相手を見つけるためのお見合いパーティーのこと。

### ③かいわとぶんぼう

① 海外でも日本関係機関では日本文化紹介のために季節の飾り物をおくことがよくある。この会話は七夕かざりのたんざくを見たエドさんが、友人のまりさんに説明してもらうという場面である。BGMは「たなばたさま」。

② V-たりして、                    

「V1-たり、V2-たりします」としないで、「V-たりします」だけでも行動Vは例示になる。イラストは七夕飾りの作り方の例。Bさんが言うように折ったり切ったりして作る。

③ S (ふつうけい) ように ねがいます／いのります

②-②の文型「S1 (ふつうけい) ように、S2」の応用。目的S1をかなえる手段として、S2の動詞に「願う／祈る」を使う。

先述のように、本書では神仏に対する働きかけを特に「いのる」としている。1-3番は練習文には明示されていないが、自分の力でコントロールできない望みを神仏に託すという文脈で捉えると同時に、過去の特別な日における1回性の行動を表すために「祈りました」とした。4-6番は、恒常的な気持ちとして「願っています」としている。

### ④どっかい

絵馬に書いてある願いを取り上げる。絵馬は神社や寺の境内で見ることができる。写真は女性が自分の願い事を書いた絵馬を吊るしているところ。4つの絵馬に書いてある願い事

に共感するかどうか、また学習者の国では人々がどんな願い事を持っているか、話し合ってみるとよい。

## トピック6 ネットショッピング

扉の写真は、インターネットで買い物をする様子と、商店街（福岡市、上川端商店街）とそこを歩く買い物客の様子。学習者はふだんどんな方法で買い物をしているか話してみるとよい。

### 第11課 そうじ機がこわれてしまったんです

#### ①もじとことば

③ イラストでネットショッピングの流れを見て、必要な語彙を学ぶ。

#### ②かいわとぶんぼう

① ネットショッピングのサイトを見ている友人に話しかける場面。

② 変化① V-なくなりました

①文型の表は、「V-る」を見て、「V-ない」を思い出し、「V なくなりました」を作る。②はイラストをよく見て、この文型が変化を表すことを理解する。

③ V-てしまいました

電気製品を買う理由を表現する。「V-てしまう」は動作の完了とそのことに対する残念な気持ちを表す。「V-なくなりました」（動かなくなりました）は②をふまえているが、形が複雑になるので注意。よく使う「こわれてしまったんです」は発話できるようにしたいが、ほかは理解できればよい。

#### ③かいわとぶんぼう

① ネットショッピングについてホセさんとさとうさんが話す。ネットショッピングをするかどうかだけでなく、買い物についてどんな考えをもっているかという点に注意する。

② V1-ないでV2

買い物行動（ネットショッピングをするか）についてのインタビューという設定で、自分の考えや価値観を話す会話を聞く。「V1 ないで」は動作V2の付帯状況を表し、②の練習文1-3番のように「V1-て」と対になる。

③ V1-るまで、V2

「まで」はV1の動作・行為が継続する時間の終点を表す。そのあいだ、V1と並行して行われる動作・行為がV2である。

#### ④どっかい

ネットショッピングのサイトの記事（グラフと文書）を読んで内容を整理する。第2、3

段落内の「 」は回答の引用を示している。

## 第12課 こっちの方が安いです

### ①もじとことば

- ① 冷蔵庫 A モデルの商品説明を読んでいるという設定なので、本物らしさを出すために未習漢字（注文、税込など）にルビをつけていない。音読の必要はなし。
- ② 意味を理解する練習なので、ルビつき漢字になっている。

### ②かいわとぶんぼう

- ① 第11課と同様、ネットショッピング中の会話。興味のある商品について、ほかの人に意見をもとめる。意見をもとめられた人は、思ったことを相手に言う。
- ② Vににくいです/Vやすいです  
電気製品の使い勝手を、複合動詞「Vににくいです」「Vやすいです」を使って表現する。「IA/ナA/Vすぎます」は初級1第13課でとりあげている。②の練習は特に2、3番の談話の流れ（①と同じ）を意識させる。（これどう思いますか→ちょっと...→でも→うん、...→...）

### ③かいわとぶんぼう

- ① この会話は特に状況を正しく理解してほしい。イラストではさいとうさんがパソコンの前に座っているが、これはカーラさんの買い物を手伝っているところ。海外滞在中はその国の店のサイトで買い物をすることが多いが、言語がちがうと操作もおっくうになる。さいとうさんはカーラさんにかわって日本語のサイトを見ながら、どんなせんぷう機がいいか、複数の商品を比較しながら聞いていく。最後の判断はカーラさんが自分ですが、そのときの表現「じゃあ、Nにします」も重要。
- ② N1とN2（と）どちら／どっちが\_\_\_\_\_か。（N1より）N2のほうが\_\_\_\_\_。  
質問文中の（と）、答えの文の（N1より）は省略できる。「ほう」を使うとN2が強調される。本書では疑問文は「ほう」なし、答えの文は文脈に沿って、比較の意味をN2に付加して強調するために「ほう」を使っている。練習①はイラストと文字情報をうまく使って比較表現を理解する。②は音声聞いて、自分でメモをとること。

## <ことばと文化>

自分とは違う意見を言われたとき、a 否定する、b はっきり言う、c 聞き流す、d 「そうかもしれない」といったん受け入れる、などの対応がある。それぞれの対応をされたとき、どう思うか、どうするか考え、話し合う。

### ④どっかい

ユーザーコメント。ネットショッピングをするとき、ユーザーコメントは参考になる。学

習者にも母語や外国語で読んだことがあるか聞いてみる。

<2番の文章>

思ったよりサイズが大きいですが、軽いので問題ありません。

つよい風とよわい風の2つしかないですが、たぶんあまりこまりません。

『まるごと』では動詞の否定形は「～ません」、形容詞の否定形は「～ないです」を使っているが、ここでは「問題ありません」と「2つしかないです」の2つの形を見ることになる。読解のためには、まず意味を類推すること。その上で動詞「あります」の否定形として「ありません」のほかに「ないです」もあることを説明する。巻末の「文法のまとめ」では形容詞・名詞の否定形に関しては「もうひとつのひていけい」として「～く／じゃありません」を注記しているが、動詞の否定形「Vないです」にはふれていない。そのため、ここでは「あります」という単語レベルで簡単にふれる程度でよい。

## トピック7 歴史と文化の町

扉は京都の寺社の航空写真と京都駅の写真。現代的な京都駅を出ると、そこには歴史と文化の町、京都がある。このトピックは、外国人数人が日本人に案内されて京都を散策しながら一日を過ごすという設定。登場人物は日本の歴史や文化を楽しみながら、同時に交流を深める。

### 第13課 このお寺は14世紀にたてられました

#### ①もじとことば

③ 同音意義語を取り上げた。日本語には同音異義語が多いが、文脈から判断するほか、語によっては異なる漢字を使って、意味の区別をする。学習者に例（絵を描く、小説を書く、など）を1つ示して、漢字を使う合理性を理解してもらえるとよい。

#### ②かいわとぶんぼう

① 京都散策にでかける3人が、京都駅前に集合している場面。案内役は何度も京都に来たことがある、日本人のなかむらさん。

② [いつ／なに／どこ／だれ] V-ても、\_\_\_\_\_。

この会話の中で、京都のよさを強調して言うために使っている。学習者の住む町や国の良さについても文を作ってみるとよい。

③ 助詞「N（ひと）と」「N（かず）で」

①は観光客へのインタビューという設定で会話を聞く。「（～にん）で」を使って、グループの人数を言うときは自分も含める。②は特に2番と4番に注意。

#### ③かいわとぶんぼう

① ②①の会話からひき続き、駅前の場面。散策に出かける前に、3人は地図を見ながら、

京都の町について説明している。

② 受身① V- (ら) れます

歴史的なものを作る／建てることを表現するために受身の文を取り上げた。特に動作主(作った人／建てた人)を文に入れて強調する場合は「～によって V-られました」とする。文末「V-られました」は過去の出来事を表し、「V-られています」は現在の状況・状態を表す。

②は金閣寺のボランティアガイドさんの説明のつもりで読んでみてほしい。

④どっかい

洛中洛外図(上杉本)の写真は、紙面の制約上小さいので、本文と照合しながらよく見ること。祇園祭はできればウェブサイトや写真で現代の様子も見てほしい。時代も国もちがう人々の様子を描いた絵から学習者は何をよみとったか、文字の解説に終わらず、読後の感想を言い合うとよい。

第14課 この絵はとても有名だそうです

②かいわとぶんぼう

① 場面は博物館。イラストにあるように、展示物(鳥獣戯画)についてのカーラさんからの質問に対して、よしださんは日本語で書かれた解説を見て答える。学習者にあっては、自国の博物館等で、母語で書かれた解説を読み、ごく基本的な情報を簡単に日本語にして友人に伝えるという「仲介」をする機会があるかもしれない。

② S (ふつうけい) そうです

①のように仲介者として情報を友人に伝えるときに、伝聞「～そうです」を使う。見ただけではわかりづらいが、①も①と同様、よしださんが展示物の解説で読んだ内容を伝えていることを想定している。また、②③は博物館のガイドによる口頭説明を聞いたカーラさんが、それを友だちに言うという設定で練習する。第13課で扱った受身文も出てくるが、形式を暗記することよりも、まず、意味をよく考え理解すること。

③かいわとぶんぼう

① 博物館のカフェで休憩しながらの会話。ここでは博物館のサービスを取り上げる。

② V-る/Nのために、\_\_\_\_\_

「Nのために」は第10課で扱っているが、ここでは「V-るために」も加わり、文がやや複雑になっている。文の構造を再確認すること。

③ V-て あります

「V-てある」は、張り紙やポスターなどが、だれかのために、そこにあることをイメージすると意味理解がしやすいだろう。初級教科書でしばしば見られる「自動詞+います」と「他動詞+あります」を並べて練習する必要はない。4番「b 書いています」は進行中の動作。

#### ④どっかい

「もうしこみは必要ありません」に対する肯定文は、「もうしこみが必要です」または「申し込みの必要があります」。抹茶のアイスクリームの色は、できれば写真を準備して見せてほしい。

### トピック8 せいかつとエコ

扉の写真は、電気（電力）を作りだすダム（＝水力発電）とソーラーパネル（＝太陽光の利用）。このトピックのキーワード「電気（電力）」に気づかせる。

#### 第15課 電気がついたままですよ

##### ②かいわとぶんぼう

① オフィスで、エコ活動に意識が高いキャシーさんが田中さんに注意している場面。キャシーさんは、会議が終わったかどうか確認する質問や、「電気がまだついている」という状況を言っている。その結果として、たなかさんは不注意に気づき、電気をけす。はじめから「電気を消してください」と指示しない会話の流れにも注意すること。

② V-た ままです

文中で使う場合は、「V-た まま、....」「V-た ままで、.....」のどちらでもよい（「で」の有無）。①②とも、はじめに状況を記述した文があり、それに行動を表す文を続ける。

##### ③かいわとぶんぼう

① 個人で心がけているエコ活動を会話の内容にとりあげた。わりばしは不要な木材を使って作られるが、1回きりの使い捨てなのですぐゴミになってしまう。それで、よしださんのように自分専用の「マイはし(my hashi)」を持ち歩く人もいる。

② V-る/V-ないように しています

①では日ごろから実行しているエコ活動について会話を聞き、②ではその内容を表す文を完成する。

③ V-るのにいいです/つかいます/...

ある行為がどう効果的なのか、また、あるものをどんな目的で使うかを表現する。ともにエコ活動について話す上で使えるので、②と合わせて、学習者自身が実行しているエコ活動について話してみるとよいだろう。

#### ④どっかい

アンケートは文単位で読むので易しいが、自分のことに照らして読むことが重要。読んだあとクラスやペアで点数を見せ合うとよい。項目のチェックの仕方に個性が出るので、それについて話しても面白い。

### <ことばと文化>

ほかの人に注意するとき、a 事実を指摘することで婉曲に言う、b 責任の所在をはっきりさせる、c 誰がしたかに関係なく望ましい行動を言う、d ことばに出して何もしないで自分で電気を消す、などの対応がある。自分の考えを説明したり、ほかの人の考えの背景を考えたりして、異なる価値観に気づく力を高める。

## 第16課 フリーマーケットで売ります

### ②かいわとぶんぼう

① 不用品の処理の方法について話す場面。フリーマーケットでは服、生活用品、子どものおもちゃ、本など、家庭で使わなくなった様々なものが、安い値段で売られている。公園などで週末に行われることが多い。

② 変化② V- (られ) なくなりました

以前はできたことが、今はできなくなったという「変化」を表現するので、この意味をまず理解する。その上で、形の作り方を確認すること。第11課(変化①)では一般的な動詞否定形を使った(せんぷうきが動かなくなりました)が、この課では可能動詞を使う点が負担かもしれない。しかし、③の練習とも関連しているので、表で活用を確認しながら丁寧に練習すること。②は意味をよく考えて答えを選ぶ。

③ 条件② S1 たら、S2

②の文型を応用した「V- (られ) なくなったら、…」という文も使う。ここでも、まず文の意味を理解してほしい。基本的には第7課(条件①「V-たら、どうしますか」)と同じで、ある条件への対処方法を表現する。

### ③かいわとぶんぼう

① ②の会話につづいて、不用品の処理の方法として「リメイク」を取り上げる。リメイクとは、ゆうこさんのようにネクタイを利用してバッグにするなど、古いものや使わないものを別のものに作りかえること。形をかえることでもものは生まれ変わる。特に絹織物(きものの素材)など貴重で高価なものは、よくリメイクされている。

会話の中でゆうこさんが「おっとの古いネクタイをバッグにしたんです」と言っている。このように「しました」ではなく「んです」と言うことで、パクさんの発言「それ、おもしろいバッグですね。」を受けて、バッグにまつわる事情説明をしている。

② N1 を N2 にします

① ①に引き続き、パクさんとゆうこさんの会話を聞いて、1～4番がきものをリメイクしたものかどうかを答える。文を作る練習がないので、聞いた後で「ゆうこさんはきものを何にしましたか」と質問し、「バッグにしました」「スカーフにしました」と言えるようにしてもよい。文の主語、行動の主体が「ゆうこさん」であることを理解すること。②はイラストをよく見て、N1、N2にあたる名詞を判断すること。4文とも文字には書かれてい

ないが、「私」または「だれか」が行動の主体になることを確認する。

③ N1がN2になります

②と比較して、主語、補語、動詞（なります）の関係性を理解する。だれが作ったかではなく、ものに焦点をあてる時には、「します」よりも「なります」を使う。

#### ④どっかい

子どものために自転車を手に入れたい人が、スーパーなどにある掲示板「売ります・あげます」を読んでいるという設定。

学習者も例えば日本のマンガ本やアニメのDVDなど日本人から買いたいものやもらいたいものがあれば、在住日本人に読んでもらう「売ります・買います」のようなメッセージを書いてみてもよいだろう。（もし可能なら、日本人会、国際交流基金日本文化センター、日系の食材店など、貼ってみる。）

### トピック9 人生

扉の写真上下2枚は、中央のアルバムを見ている二人の人生（子どものとき、若いころ）という設定である。（写真上は1980年代、写真下は1960年代。）

#### 第17課 この人、知っていますか

##### ①もじとことば

① 有名な人やニュースについて話すときに使う職業名。芸術家（3番）は歌手、音楽家、画家などの総称、あるいは複数の芸術分野で活躍している人に使われる。また日本では、内閣総理大臣(prime minister)を「首相（しゅしょう）」と言う。

##### ②かいわとぶんぼう

① ウェブサイトや雑誌などを見ながら、有名人について話している場面。外国人は滞在国の有名人について知らないことも多いので、このように写真をきっかけに話をすることが交流のきっかけになるだろう。

② S (ふつうけい) そうです

①②は雑誌や新聞を読んで知ったことを、③はニュースを聞いて知ったことをだれかに伝えるという設定。③で示す表現も使って、クラスで、学習者の国の有名人についての情報交換をしてみるとよいだろう。

##### ③かいわとぶんぼう

① ②と同じ場面。のださんは、本に出ている有名な画家について知っていることをカーラさんに話す。

② V1-てから、V2 / V1-るまで、V2

ここには2つの項目、動作の前後関係を表す「V-てから」と、ある時点から動作がずっと続いていることを表す「V-るまで」がある。前者は第4課で、後者は第11課でもとりあげた。

①ではある画家の人生についてのモノローグから、人生の出来事がいつだったかを聞き取る。②は①のこたえをもとに、文を完成させる。

③ S (ふつうけい) かもしれません

推量表現「かもしれません」を伴って表す内容は、客観的な根拠に基づくものではなく、個人的な考えや感想である。

#### ④どっかい

ヤンさんの人生の出来事を時系列に並べる。解答欄の( )にはすでに a と b が入っているが、これらを削除すれば少し難度をあげることもできる。

#### ⑤さくぶん

カーラさんの人生(生い立ち)を例に、シンさんの人生を自由に考えて、書いてみる。生まれた年と場所、日本に興味を持ったきっかけ、高校やそれ以降にどのような経験をして日本に来たか、日本で何をしているか書いてみる。学習者自身や自分の夢を重ね合わせて書いてもいいし、おもしろい物語を作ってもよい。

### 第18課 どんな子どもでしたか

#### ①もじとことば

① ② 「せんぱい(先輩)」、「こうはい(後輩)」という人間関係を表すことばは、学校だけでなく会社でも使われる。「家内」、「主人」はジェンダー(社会的な性差に対する意識)の問題があるが、今も使う人が多い。ジェンダー的に中立的なことばとしては「妻」、「夫」が最近よく使われている。ほかの人の配偶者を表す「奥さん」、「ご主人」にもジェンダーの問題が指摘されているが、これに代わることばで一般的に使われているものはまだない。

#### ②かいわとぶんぼう

① 会話の内容は子ども時代の思い出。個人的なことにやや踏み込んでいるが、子どものことや学校教育のことなどを話すうちに、このような内容に発展することもあるだろう。最後のタイラーさんの発話「ほめられると、がんばりますよね」の終助詞「よね」は初出。自分の意見や感想について強く相手に確認したり同意を求めたりする機能がある。

② 受け身② AはBにV-(ら)れます/AはBにNをV-(ら)れます

昔の思い出を言うのに、受身文を使ってみる。受身文を使うことで思い出の出来事における他者との関わりも同時に表すことができる。

「ほめる」のは、その人の作品(絵、作文、歌など)のこともあればその人自身のこともある。「私は先生にほめられました」「私は先生に絵をほめられました」

④ d 「サッカーの選手に選ばれました」の「サッカーの選手に」は「選ぶ」の補語である。

### ③ かいわとぶんぼう

① 人生の転機とその後の生活の変化について話す会話。人生の転機には、入学・卒業、就職、結婚、子どもの誕生、退職、家族の死、そのほか忘れられない体験や出会いなど様々あるだろう。ここでは、そのような転機をむかえた友人に久しぶりに会ったときに、どんな生活をおくっているか様子を聞いてみるという場面を設定した。

② 変化③ V-るように/V-なく になりました

③ 変化④ V-(られ)るように/V-(られ)なく になりました

動詞を使って、変化を表す肯定文「～ようになりました」を新しく練習する。すでに学習した「V-なく/V-(られ)なく になりました」と意味的に対をなすものである。②③番はいわゆる「飲み会」のことで、日本的な状況かもしれない。③①-③番は、年をとることで、いいこともよくないこともあるという内容。④⑤番は子どもが生まれてからの生活の変化についてだが、両方とも否定的なので、学習者には肯定的な変化についても考えてみてほしい。

### <ことばと文化>

どのような文化圏であっても、悪いことがあって落ち込んでいる友人がいたら共感を示したり励ましたりするの一般的な反応ではないだろうか。ここでは会話や問題文を例に、内容によってどんなことばでその気持ちを示すか話し合う。いいことばがないときは、相手への配慮の気持ちを込めたイントネーションで (d) 「そうですか」と言うといい。イントネーションの練習をしてみる。

\*\*\*\*\*